

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：大濠公園能楽堂
- 2 指定管理者名：株式会社 西日本新聞イベントサービス
- 3 指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日
- 4 施設設置目的：能楽を始めとする伝統文化を継承保存し、併せて県民文化の振興普及に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（平成28年4月1日～平成29年3月31日）
 - (1)点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2)点検結果：別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を理解し、条例等規定の遵守及び公平・平等性に配慮し、県民文化の向上に努める。 マスコミ各方面とのネットワークを活かし、テレビ・新聞等を活用してより広範囲への伝統芸能普及に取り組む。 施設の巡視、アンケート調査などを実施し、管理運営に反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 能楽堂を伝統芸能活動と鑑賞の場として常に良好な状態で提供することに努めている。 施設の運営、自主事業の実施にあたっては、県及び大濠公園周辺の関係者や能楽協会等と連携・協力し、公共性の保持に努めている。 新聞等各種媒体による積極的な広報を行ったほか、若手能楽師の活動支援として、独立披露能の周知や、屋外での能楽のPRに取り組み、伝統芸能の継承、普及に寄与している。 能公演と快適な利用のために、利用者の声や日常巡視をもとに、舞台など施設設備の改善やサービスの向上に努めている。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能はもとより、新しい分野での活用を企画、提案し、施設の認知度向上と利用促進を図る。 (目標公演数 100件) 伝統芸能の普及、活性、継承を目的に、能楽堂の空間、立地を活かした自主事業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設のPRと積極的な企画営業に取り組んだ結果、能楽だけでなく、ジャズコンサートや、トークセッション、音楽ライブや一人芝居など多様な分野に利用が広がっている。 文化的な視点からの施設の認知度向上のため、能楽堂施設の見学を積極的に受け入れている。 見学受け入れ数：15団体（前年度21団体） ホームページ、マスコミを活用した情報提供や各種公演のチケットの販売等、県民の伝統文化へのアクセス支援を行っている。 <div data-bbox="1084 823 1917 963" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>利用者数：38,819人(対前年度+0.3% 対H17年度(制度導入前)+1.0%) 公演回数：90件(対前年度+2件、対H17年度(制度導入前)△7件) (うち、能楽以外23件) 施設稼働率：84.3%(対前年度△3.3%、対H17年度(制度導入前)△8.1%)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業については、各事業の内容の充実と広報の強化を行い、能楽の普及と施設の認知度向上に努めている。 <div data-bbox="1084 1072 1989 1311" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自主事業数：10事業（前年度7事業） 能楽鑑賞：「能と花火を楽しもう」 能楽体験：「福岡・天神薪能」「ウィークエンド夜能」「子ども能楽教室」 「桜花能事前講座」「桜花能」 他ジャンル等公演：「能楽堂deジャズナイト」 開館30周年記念公演：「夏休み親子招待ワクワク能楽鑑賞会事前講座」 「夏休み親子招待ワクワク能楽鑑賞会」 「大濠公園能楽堂開館30周年記念公演「祝賀能」・「乱能」」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業参加者を対象に、定期的に能楽堂での公演情報等を送付し、鑑賞者の定着を図っている。今年度は、引越し等で届かないアドレスの整理を行った。 ダイレクトメール会員数 1,500名（対前年度△100名）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率の向上と自主事業の実施により、収入を確保する。 （目標施設利用料金収入 19,980千円） 	<ul style="list-style-type: none"> 能楽公演の他にも、他ジャンルの芸能やイベント、楽屋の部分利用等による施設利用促進を図り、利用料金の確保に努めている。 利用料金収入額：18,486千円 （対前年度+3.4%、対H17年度（制度導入前）+2.1%） 自主事業においては、能楽の伝統様式に基づくものや初心者を対象とした能楽の普及に力をいれたもの、施設の特性を生かした高い集客が見込めるものを企画した。そのほか各種助成事業の活用等により、収入の確保に努めている。 ※助成を受けた自主事業数 2件 （「子ども能楽教室」、「ウィークエンド夜能」） 県委託料（指定管理料）7,959千円（対前年度±0%、対H17年度（制度導入前）+6%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業の企画や施設の利用促進のため、企画営業的な業務の経験がある職員をマネージャーとし、施設の現状を熟知し利用者対応経験のあるスタッフを配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業や広報等の企画営業、施設管理や利用者対応等の施設運営の担当を明確化し、それぞれ経験を積んだ職員を配置している。 借入金はなく、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法、福岡県個人情報保護条例に基づき作成している個人情報保護マニュアルにより、適切な管理を行う。 緊急対応マニュアルに基づき、災害の状況に応じて、西日本新聞イベントサービス全体で災害、安全対策を講じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護マニュアルに基づき、個人情報管理の総括者を配置し、個人情報保護に努めている。 緊急対応マニュアルを整備し、職員への周知徹底と定期消防訓練（年2回）を実施している。 毎回公演時に非常の際の導線確認のアナウンスを実施している。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方新聞社グループのネットワークを活かした情報発信や、施設見学の受け入れなどに積極的に取り組むことで、伝統芸能の普及や能楽堂のさらなる認知度拡大とリピーターの確保に努めている。 自主事業をきっかけとした鑑賞者の定着や、能楽堂を拠点とした若手能楽師の活動の活性化も見られる。 能楽のみにとどまらず、様々なジャンルでの利用促進に着実に取り組み、施設稼働率は高い水準を維持している。また集客力のある自主事業や助成事業の活用等により、収入確保に取り組んでいる。 <p>以上のとおり、施設の設定目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
---	---